

たいわ 町議会だより



ドキドキ、ワクワク新1年生
(宮床小学校入学式)

新体制でスタート、議員・委員会等紹介

4～7ページ

町長施政方針、3月定例会の主な内容

8～9ページ

ムダはないか、効果的な予算組みか、新年度予算をチェック

10～18ページ

「検討する」と答弁した結果は ほか 一般質問者12名

20～31ページ

元気な大和町



家族を愛し
友達を愛し
ふるさとを愛する、それが郷土愛

私たち18名の議員は、住民の代表である事を強く自覚し、町民皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意、この4年間で全力で頑張ります。町民皆様が、笑顔でいられる大和町のために。



笑顔あふれる



新たなる議会スタート

現職 11 名、新人 7 名

任期満了に伴う町議選が 3 月 25 日に行われ、新議員が決まりました。当選者 18 名の内、現職は 11 名、新人 7 名で、党派別は公明 1 名、共産 1 名、無所属 16 名です。

4 月 5 日に初議会が開催され、議長、副議長、各常任委員会等の委員が決まりました。

就任のあいさつ

議長 大須賀 啓

町民の皆様には、日頃より議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

去る 4 月 5 日の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、第 19 代議長に就任できましたことは、身の引き締まる思いと共に、荷の重さを感じております。任期である 4 年間は、20 年間の議員経験を生かし、住民の福祉の向上はもちろんです、町民が明るく幸せを感じる町づくりをして参る所存でございます。浅学非才の身ではありますが、今までの経験を活かしながら、議員各位と一緒に、一生懸命、議会活動に取り組んで参ります。今後とも、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。

副議長 堀籠 日出子

この度、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしましたことは、身に余る光栄であると共に、議長の補佐役として、円滑な議会運営に努めて参ります。副議長としての任期は 4 年間ですが、町民の福祉向上と、活気あるまちづくりのために全力で取り組んで参ります。

何卒、町民皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



こんの よしゆき
今野 善行 (61)
① 小野前河原
② 1 回
③ 団体役員
④ 町民視点での行政を理念に、希望のもてる未来の大和町づくりに邁進します。

議員



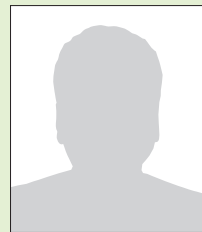
ほりごめ ひでこ
堀籠 日出子 (63)
① 吉田反町下
② 4 回
③ 会社員
④ 誰もが「住んでみたい・住んでよかった」と感じる町づくりに努めます。

副議長



おおす が ひらく
大須賀 啓 (62)
① 宮床向原
② 6 回
③ 会社役員
④ 人情・絆・人間味にあふれ！あったかく幸せを実感できるまちづくり。

議長



氏名 (年齢)
① 出身地区
② 当選回数
③ 職業 (経歴)
④ 抱負

※紹介は議席順です。(正副議長は除く)



もんま ひろいえ
門間 浩宇 (56)
①鶴巢小鶴沢
②1回
③農業
④故郷大和町の
確かな一歩前進
のために、全力
で働きます。



まつうら たかお
松浦 隆夫 (66)
①吉岡城内東
②1回
③自衛官
④住み良い町、
活力あふれる町
づくりに熱意を
持って取り組み
ます。



わたなべ よしお
渡辺 良雄 (62)
①もみじヶ丘
②1回
③自衛官
④住み良いまち
づくりに貢献で
きるよう勉強し
つつ、情熱で取
り組みます。



ちさか やすはる
千坂 裕春 (53)
①落合桜和田上
②1回
③会社員
④身近な頼れる
相談役として、
ご意見、ご要望
を町政に届けま
す。



あさの としひこ
浅野 俊彦 (42)
①宮床山田
②1回
③会社員
④常に「町民目
線」で夢と希望
ある大和町の未
来づくりに挑戦
します。



ひらわたし たかし
平渡 高志 (60)
①鶴巢下草
②3回
③農業
④子育て支援の
充実と災害に強
い町づくりに全
力で取り組みま
す。



いとう まさる
伊藤 勝 (53)
①吉田清水
②2回
③建築業
④町民の皆様が、
安全で安心に暮
らせる町政を目
指して参ります。



まつかわ としみつ
松川 利充 (66)
①吉岡城内中
②2回
③会社役員
④安全で安心な
町づくりを目指
し、大和町を誇
れる町にしたい
ために。



ふじまき ひろし
藤巻 博史 (59)
①吉岡南
②2回
③政党役員
④住民が主人公
の政治、暮らし
やすい町のため、
全力をあげます。



つきた まさゆき
槻田 雅之 (48)
①もみじヶ丘
②1回
③会社役員
④安心できる町
にするため、防
災センター建設
実現に力を尽く
します。



おおさき かつじ
大崎 勝治 (74)
①鶴巢大平上
②7回
③農業
④議会議員総仕
上げと大和町の
更なる発展のた
めに誠心誠意努
力します。



なかがわ ひさお
中川 久男 (62)
①吉岡西原
②6回
③会社役員
④安心安全の町。
障害児の放課後
ケアと学校が休
みの余暇支援の
施設。



ばば ひさお
馬場 久雄 (63)
①吉岡志田町
②5回
③小売業
④町民皆様の声
を大事にし、伸
び行く大和町
のために頑張って
いきます。



たかひら としお
高平 聡雄 (55)
①落合相川下
②4回
③農業
④町民が主役、
人、地域、自然・
文化を活かした
住みよいまちを
目指します。



ほりごめ ひでお
堀籠 英雄 (63)
①吉田金取南
②3回
③農業
④私の信条であ
る町民一人ひと
りが幸せを実感
できる町をつく
ります。

委員会紹介

委員会ってなあ〜に？

議会で調査する事項は非常に広いため、各委員会を設けて、専門的に調査を行います。任期は4年間です。

総務常任委員会

総務まちづくり課、財政課、税務課、環境生活課、会計課、他常任委員会に属さない事を調査します。



松浦隆夫 浅野俊彦
高平聡雄 伊藤 勝 松川利充
(委員長) (副委員長)

社会文教常任委員会

町民課、保健福祉課、教育総務課、生涯学習課、公民館にかかわる事を調査します。



千坂裕春 渡辺良雄 藤巻博史
堀籠日出子 中川久男 平渡 高志
(委員長) (副委員長)

産業建設常任委員会

産業振興課、都市建設課、上下水道課にかかわる事を調査します。



今野善行 門間浩宇 槻田雅之
大崎勝治 堀籠英雄 馬場久雄
(副委員長) (委員長)

議会運営委員会

議会運営を円滑にするため、意見調整を図ります。定例議会前などに委員会が開かれます。



伊藤 勝 堀籠英雄 中川久男
大崎勝治 松川利充 平渡 高志
(委員長) (副委員長)

広報調査特別委員会

町民と議会を結ぶ「読みやすく、親しまれる」議会だよりを作ります。



浅野俊彦 千坂裕春 門間浩宇
今野善行 伊藤 勝 藤巻博史
(委員長) (副委員長)

監査委員 (議会選出)

松川 利 充

町の財政や経営が適正に行われているか、邊仁代表監査委員と共に監査を行います。

宮城県後期高齢者医療

広域連合議会議員

渡 辺 良 雄

広域連合議会で、条例や予算等の審議を行います。

黒川地域行政事務組合

議会議員

槻田雅之 伊藤 勝 松川利充
平渡高志 高平聡雄

【黒川行政事務組合】

黒川郡4町村で構成している、複合一部事務組合。消防、火葬場、し尿処理、ごみ処理(富谷町は除く)、視聴覚教室、適応指導教室(不登校児童・生徒のための教室)、訪問看護ステーション等の事務を行っています。



吉田川流域溜池大和町外

2市4ヶ町村組合議会議員

千坂裕春 松浦隆夫 堀籠日出子
堀籠英雄 大崎勝治

【吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合】

大和町、大衡村、松島町、大崎市、東松島市で構成する組合。吉田川流域ため池や、それにかかわる施設の管理を行っています。

大衡村外一町牛野ダム

管理組合議会議員

千坂裕春 高平聡雄

【大衡村外一町牛野ダム管理組合】

大衡村、大和町で構成し、牛野ダムやそれにかかわる施設の管理を行っています。



中核都市・大和」を目指す

○宮床中学校体育館建設



○住宅用ソーラーパネルに助成



○農地・水管理事業を 24年度から5年間

○あんしん子育て医療費助成 中学3年生まで無料

今までは6歳まで、これからは、中学3年生まで通院・入院無料

(会期 2月27日～3月9日)

3月定例会

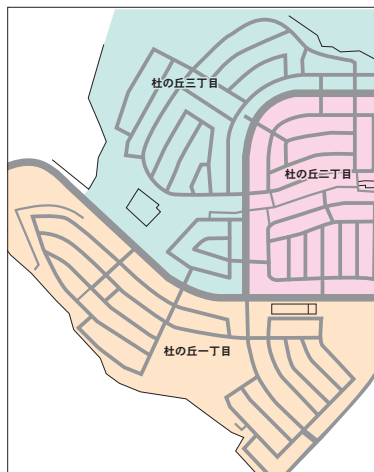
内 容

条例の改正や補正予算、人事案件などを慎重に審議しました。一般質問は12人の議員が、町の対応や考えを問いただしました。また、予算特別委員会を設置し、新年度予算を審議しました。

条例改正の主な内容

○杜の丘の人口が増えたので、一丁目～三丁目まで分けます。

【連絡区設置条例改正】



【町農林施設の管理条例の改正】

○冷房器具を使った場合、1時間当たり100円をいただきます。(対象施設：吉田・落合ふるさとセンター、宮床基幹集落センター)

【介護保険条例の改正】

○介護保険料の基準額が3800円から4900円に上がります。(所得区分により1～6段階に別れます)

3月定例会の審議内容

条 例	結果	賛:反
あんしん子育て医療費助成条例	可決	17:0
連絡区設置条例の改正	可決	17:0
町職員の給与条例の改正	可決	17:0
町税条例の改正	可決	17:0
町農林施設の管理条例の改正	可決	17:0
介護保険条例の改正	可決	17:0
町営住宅条例の改正	可決	17:0
町スポーツ審議会条例の改正	可決	17:0
その他	結果	賛:反
下水道工事の変更契約	可決	17:0
町道路線の廃止	可決	17:0
町道路線の認定	可決	17:0
請願書(杜の丘地区に公民館・防災センターの建設を)	採択	17:0
請願書(町スポーツセンター施設に関する請願)	継続	17:0

23年度補正予算		結果	賛:反
一般会計		可決	17:0
特別会計	国民健康保険会計	可決	17:0
	介護保険会計	可決	17:0
	宮床財産区会計	可決	17:0
	吉田財産区会計	可決	17:0
	落合財産区会計	可決	17:0
	奨学事業会計	可決	17:0
	後期高齢者医療会計	可決	17:0
	下水道会計	可決	17:0
	農業集落排水会計	可決	17:0
	合併浄化槽会計	可決	17:0
	水道会計	可決	17:0

24年度予算関係は10～18ページに掲載しております。

「活力に満ちたまち・みやぎの



施政方針を述べる、浅野町長

24年度の主な事業

○交通ターミナル整備（役場北側）
平成25年4月から利用開始予定



○吉田落合線（役場南側の道路）
を国道457線と結ぶ



施政方針演説を 聞いての感想

総務常任委員会

委員長 高平 聡雄

震災復興事業に加え、町課題への対応と、厳しい財源での演説内容は、「決意は示されたが説得力に欠ける」印象である。

社会文教常任委員会

委員長 堀籠日出子

震災施策を進めつつ、学力向上対策、宮床中学校の体育館建設、中学生までの医療費無料化等を着実に進めていただきたい。

産業建設常任委員会

委員長 大友 勝衛

震災復興に向けた、尚一層の施策展開と、産業集積に向けた、中長期的な視野での新たな整備計画を早急に検討すべきと考える。

請願書

【杜の丘地区内への公民館並びに

防災センター建設に関する請願書】

【内容】 杜の丘地区の人口が急増しており、公共施設の建設が必要と、住民も切望している。是非、早期建設が実現するようお願いする。

【請願結果】 採択 **賛17・反0**

【請願者】

宮床地区区長会

会長 佐竹勇雄氏



【採択された感想を】

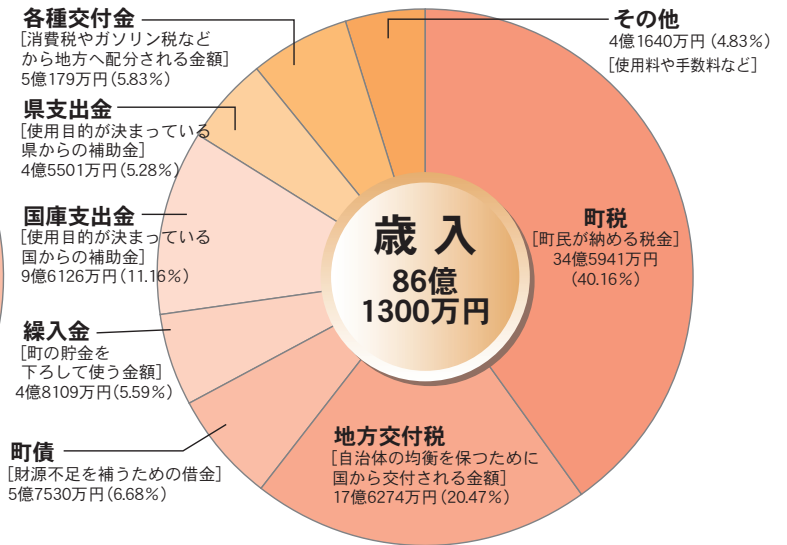
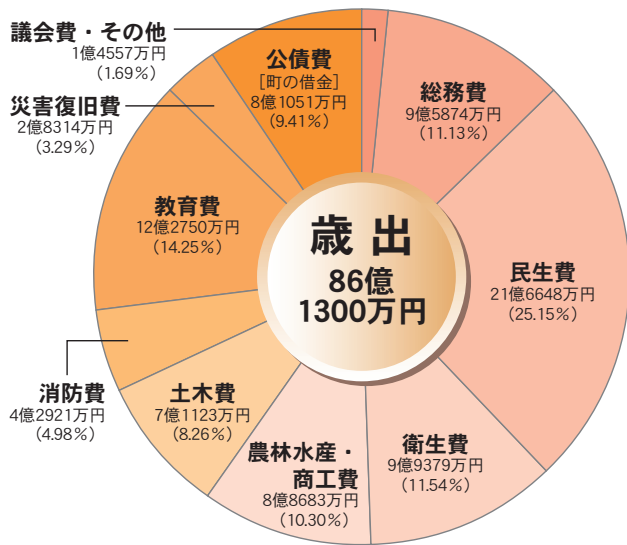
杜の丘地区の人口が急激に増え、今年4月から一丁目から三丁目に分区となった。公民館、防災センターの着工・完成を、多くの住民が望んでいる。今回、請願書を出して、議会の承認を得ることができた。今後の、町の動向に期待する。



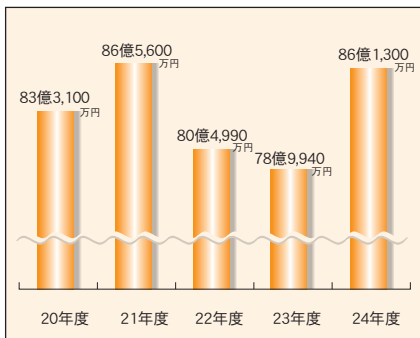
【議会に一言】

3月の改選期で新しい議員さんが誕生して、4月5日に初議会が開かれ、私も傍聴をした。議員各位には、今後の大和町発展のために、尚一層の努力をしていただきたい。

≡ 新年度予算を分析 ≡



5年間の一般会計予算の推移



町民一人あたりの支出予算額

32万9608円

(昨年度と比べ3万6368円減)

平成24年3月末
人口2万6131人で試算

- 教育費 4万6975円 (9916円増)
- 土木費 2万7218円 (4689円減)
- 消防費 1万6425円 (1034円増)
- 災害復旧費 1万835円 (1万835円増)
- 議会費 5188円 (646円減)
- その他 383円 (17円減)



- 総務費 3万6690円 (2901円減)
- 民生費 8万2908円 (6044円減)
- 衛生費 3万8031円 (6830円減)
- 農林・商工費 3万3938円 (1万4867円増)
- 公債費 3万1017円 (5万1893円減)

▲減額

平成23年度	歳出分	予算額	前年度比	増減率	賛成：反対
一般会計		86億1300万円	7億1360万円	9.0%	16：1
特別会計	国民健康保険会計	21億7608万円	2680万円	1.2%	17：0
	介護保険会計	14億5538万円	1億1345万円	8.5%	16：1
	宮床財産区会計	3532万円	▲747万円	▲17.5%	17：0
	吉田財産区会計	691万円	75万円	12.2%	17：0
	落合財産区会計	545万円	18万円	3.4%	17：0
	奨学事業会計	971万円	96万円	11.0%	17：0
	後期高齢者医療会計	1億9568万円	1748万円	9.8%	16：1
	下水道会計	8億232万円	▲2104万円	▲2.6%	17：0
	農集排事業会計	6461万円	247万円	4.0%	17：0
	合併浄化槽会計	5397万円	218万円	4.2%	17：0
	水道会計	10億9717万円	▲7585万円	▲6.5%	17：0
総額		145億1560万円	7億7351万円	5.6%	

予算特別委員会を設置して 各課の予算をチェック



委員長を務めた秋山議員

親切、丁寧を心がけ
問 総合案内窓口を、今後どのようなにするのか。
答 総合案内の窓口は、継続していくが、体制は今後、内部で検討する。



こんにちは、ご案内します

問 地区の代表、区長さん
区長報酬はどのようになっているのか。
答 各地区の区長の報酬を平均すると、年額30万8千円。それに、世帯割額があり、各行政区の世帯の数に応じ加算している。100世帯までは11万6千円で、1000世帯〜2000世帯までは、1世帯当たり9000円をプラス。例として、2000世帯ある場合は11万6千円と9万円が加算される。

メールで情報を発信
問 町職員、消防団、住民連絡メールの内容は。
答 防災無線に加え、希望者にはメールで情報を発信する。住民には、不審者情報や町のイベント等。職員には、災害時の緊急の連絡と対応。消防団は、各分団長に連絡し、そこから部長、各班長に連絡をする仕組みとなっている。

職員にも見せよ
問 県や仙台市では議会中継を職員にも見せている。本町も職員に見せるようにしては。
答 議会に出ていない職員は、職務に専念しなければいけない。議会中継等を見る機会がない状況である。議会の内容は、各課の課長が職員に内容を伝えていく。

気になる、放射能
問 放射能測定器は、メーカーによって測定値の誤差はあるのか。県内各市町村、全部
答 同じ機種なのか。測定器は県から借りる。種類は3種類で、これがどの自治体に配備されるかは未定である。その機種によって、測定の方法も変わる。検出のレベルも違ってくる。

放射能測定器
問 放射能測定器は、メーカーによって測定値の誤差はあるのか。県内各市町村、全部
答 同じ機種なのか。測定器は県から借りる。種類は3種類で、これがどの自治体に配備されるかは未定である。その機種によって、測定の方法も変わる。検出のレベルも違ってくる。



役場東側にある放射能大気測定器

シンボルタワー?
問 国道4号線、高田橋付近にあるシンボルタワー、あれのどこがシンボルタワーなのか。
答 ふるさと創生1億円事業で建設をしたもので、本町の入り口に設置した。当時は電光掲示板で、インパクトがあった。あれから20数年ぐらい経過しているので、施設をどうしたらいいか研究する。

商店街の活性化を
問 中心商店街の活性化を、どのように考えているのか。
答 旧市街地を、いかに活性化させるかというの大きなテーマであり、やはり新旧市街地の交流することが必要である。旧市街地に誘客を図るかというのが大きなテーマであり、課題である。



シンボルタワー?

ありがたい、ごさいます
問 震災から1年が経過した。善意の寄付金やふるさと寄付金の状況は。
答 災害関係は、4件の寄付金があり、総額は210万円である。教育費寄付金として、匿名の方1名からの寄付金があった。ふるさと寄付金も1件の方から申し出があった。

便利なカード
問 住民基本台帳カードの発行枚数は。また、このカードを持つことによってのメリットは何か。
答 24年2月末現在で住民基本台帳カードの登録数は403枚である。住民基本台帳カードのメリットは、身分証明と全国どこに行っても自分の住民票が出せることである。

自主防災組織は、
問 昨年、29地区28の組織があった。その後、どの程度進んだのか。
答 6地区で自主防災組織を立ち上げていただいた。平成24年度は、なお一層の防災組織を立ち上げたいと考えている。



住民基本台帳カード

中学3年まで医療費無料

問 大和町安心子育て医療費助成事業は、どのぐらいの人数が該当するののか。

答 23年12月末で、4188人が対象となっている。

税金は期限までに

問 差し押さえた車両の管理はどうしているののか。

答 年間契約している業者にお願いをする。車を差し押さえた場合、業者に連絡し、運搬して保管してもらう。22年度は、軽トラックと普通自動車の2台を差し押さえた。

トヨタからの税収は

問 トヨタ東北が7月に統合された場合、税収はどのように変わってくるののか。

答 法人町民税の課税標準で均等割は、その企業の資本金額がいくらになるか、従業員数がどれだけのかで均等割が決まる。トヨタ東北が統合され、大和

町内の従業員数がどれぐらいになるか、本社の資本金額がどれぐらいになるかによって均等割が変わる。今回の予算計上は、見込みなので結果としてどのようになるかは何ともいえない。



今後も期待されるトヨタ東北

お金の預け先はどこ？

問 本町での取り引きしている金融機関名と割合。全体としてどの銀行が何割を占めているのか。

答 七十七銀行で70%ぐらい、仙台銀行、古川信用組合、あさひな農協、それぞれ1%から8%程度である。その他に、みずほ信託銀行、宮城県の公債があり、5%、13%程度の割合である。

ワクチン接種でがん予防

問 子宮頸がんワクチン接種の年齢と回数。

答 ワクチンは、対象が中学1・2・3年生と高校1年生までで、平成23年2月から始まっている。子宮頸がんワクチンの接種は3回やることになる。1回目、2回目は、1、2か月置いてやる。3回目は6か月後実施する。

社会復帰を目指して

問 生活保護を受給している方への指導はどうしているののか。

答 23年度に依頼した件数は、60人で5758万5千円である。その内、1月末現在で、収入額が2501万円である。

メンタル的にケアできるようなシステムに

問 なっているののか。

答 本町には現在250人ぐらいの方が生活保護支給対象となっている。生活指導はいろいろな面で相談、対応をしている。ケースワーカーの指導等は、毎年研修会等を行ってレベルの向上を図っている。

特養老人ホーム

問 まほろばの里の入所料の設定はどの程度か。

答 入所料は、介護度によって異なる。中間の介護3で見た場合、大体月6万円ぐらいである。個室に入った場合、8万8千円ぐらいになる。



5月にオープン

元気な体で長生きを

問 後期高齢者の介護を受ける年齢が多くなってくる。予防事業をどう進めるののか。

答 介護予防サービスとして、お口元気教室、からだ元気教室、前期高齢者等々の方も含めて介護にならないための出前講座を行っている。

体の健康チェック

問 各種検診で無検診の方はどれぐらいいるののか。

答 約半分ぐらいの方々が検診していない。受診率の向上に取り組んでいく。



検診で早期発見を

年に1回、注射をしてね

問 狂犬病予防だが、対象は何匹犬がいるののか。

答 予算は1000頭分。実際は700から800頭が注射の実数になっている。年1回、狂犬病予防法により注射を行っている。



注射、痛いんだよなあ～、でも安心

なくてはならない施設

問 環境管理センターは昭和55年に稼働し、かなり老朽している。改修の動きはあるののか。

答 環境管理センターは30年を経過したので、今後どのように進めていったらいいのか、4町村と黒川行政事務組合の方で協議をしていく。

住みやすいきれいな地区

問 環境美化推進員の業務内容は、

答 業務は防疫事業、害虫防除関係への協力、その地区内にあるごみステーションの清掃維持、地区内にある公共施設の清掃維持、不法投棄などがあつた場合は、町に通報していただく。



花いっぱい、きれいだな

問 ペットが死んだ場合、どのようなにするのか。

答 飼い主から町へ問い合わせがあつた場合は、民間の墓地などを紹介している。飼い主がわからない犬は町で丁寧に処理する。

苦しい時は相談を

問 生活相談事業で、弁護士を必要とす

る事案も出てくると思うが、その場合の予算は、

答 県でアドバイザー弁護士制度があり、相談員が直接、弁護士に相談し、費用は県が全額出している。

地元の食材を使う

問 学校給食にどのくらい地元の食材を使う予定なのか。

答 これまでも、地場産品をできるだけ使っていきたいということ、納入業者と協議してきた。しかし、給食センターの需要に供給できる態勢が合わない部分があり、品目数が増えない状況である。その都度、農協などに相談しながら、地場のものができるだけ入れていきたい。



おいしい給食作ってね

一流選手から学べ

問 トヨタ東日本株式会社からハンドボールの日本リーグに参戦するという報道があつた。中学校の部活にもハンドボール部がある

ので、一流選手に指導してもらえないのか。

答 大和中学校にハンドボール部があるので、24年度に講師に招いて教室を開催する予定である。



がんばれ！大和中ハンドボール部

みんなで育てよう

問 学校応援団事業は、学校と家庭と地域との連携、協力が一番大事ということが始まった。特に、志教育はどういったことに主眼を置いて行っているのか。

答 志教育は、学校からの支援の要請に基づくものである。地域の皆さんが体験、経験されてきたことを子供たちが学校の教科書にはないことを教えていただくということ、地域の方々と触れ合うということに意義がある。それで、多くの方々の支援をいただき、町内全校で地域の方々の手をかりて、色々なことを体験している。

心身共に鍛えよう

問 武道が必須授業化となるが、対策は十分か。

答 24年度から教育課程が新しくなり、武道が中学校で必修科目になる。大和中、宮床中両方とも武道は柔道を取り上げる。先生方

も指導できるような体制にはなっていないので、先生方に対する指導研修を県教委で考えている。また、大和町柔道愛好会に、指導の補助として入っていただけなのか相談している。



目指せ 三四郎

問 さらに多くの企業進出を企業立地奨励金5億2500万円だが、対象の企業名は、

答 スズデン、スズケン、東盤運送、ニューテック、東京エレクトロン宮城、プライムアースの6社である。用地取得奨励金は2社で、スズデン、東京エレクトロン宮城である。

維持管理、結構かかります

問 まほろばホールや総合運動公園の維持管理費はいくら位かかっているのか。この使用料は何年前に設定したものが。

答 使用料は、平成14年に改定して現在にいたる。まほろばホールの維持管理費は8655万、総合運動公園の維持管理費は4544万4千円である。維持費のほうが使用料よりはるかに上回っている。



スポーツの中核、総合運動公園

住宅用ソーラーパネル
問 新エネルギー利用促進助成金の事業内訳は。

答 これまで20だった集落が、27集落と増えた。交付金単価は、10アール当たり4400円である。継続地区は、

答 住宅用太陽光発電の助成金は、21年度の件数が81件、1056万6千円である。22年度は69件、1009万3千円である。23年度は57件、739万6千円である。

問 この件数の中で、地元の業者が請け負った工事は何件か。町独自の助成金なのに、なんで町内業者に受注させないのか。

答 23年度は57件中、9件、3業者が受注した。営業を頑張ってもらえれば、ある程度獲得できるのかなと思う。産業まつり等に業者さんに参加してもらい、PRの場を提供をし、広く周知していく。

きれいな農地を保とう

問 農地・水保全管理支払交付金事業だが、参加する地域はどれくらいか。24年度からの交付単価は。

答 これまで20だった集落が、27集落と増えた。交付金単価は、10アール当たり4400円である。継続地区は、

75%が上限額である。最低が50%、10アール当たり2200円である。

活気を取り戻そう

問 商店街担い手支援事業費100万円と、商工会割増商品券を合体した運営はできないのか。

答 商品券の割増率は、今までは1割だったが、これを2割、さらにはプレミアムということと、商店独自の発案によるサービスや、取り扱い店をどうするかを詰めていかなければならない。まるごと市で、商品券を販売するとか、今後、商工会や商店の方と話しを進めていきたい。

放射能は大丈夫です

問 県北の農家が、放射能の風評被害で24年度産米の契約が取れなかったという。本町ではそのような事例があるのか。

答 本町では、米を始め、菌床マイタケ、そば、タマネギ、トマト、ホウレンソウ、大麦、大

豆、全て不検出である。検出された事例ない。今後も安心・安全に努めていきたい。

冬でも使えるように

問 冬期間の公園のトイレの使用は、今までより大分改善されたが、いまだにベニヤを

張って使えない所がある。今後の対応は。

答 ベニヤを張っているトイレは、地震で壊れたので修繕する予定である。冬期間でも利用される方が増えているので、改善に向けて努力していく。

早く直してね

問 災害で認定を受け、た所は道路修繕を進めているが、小さな災害の部分は、今後、どう対応していくのか。

答 小さな破損で査定で認められなかった所は、随時発注を行っている。橋の段差や亀裂などの修繕を3月中には発注して、全て修繕する予定である。

地域に向いて説明を

問 合併処理浄化槽設置で、補助制度のお知らせを配付しているが、上下水道課で地域に足を運び、説明しているのか。

答 合併浄化槽の整備率が、吉田地区は大分遅れているので、各地区の区長さんと協議をして、PR文書を配付する。個別の相談にも応じる。



安心して食べてください〜ん

新年度予算質疑、 各課を問う

問 新体育館を計画地に建てた場合、駐車場も無くなり、校庭も狭くなる。予定通りの計画で建設を進めるのか。また、財産区有地に校庭を広げては、

その場所で大丈夫？



30年の思い出が詰まった体育館

答 建設予定地は、校庭の一角にあるものの、校舎のすぐ隣ということで生徒の授業での移動が便利であることから、現計画で建設を進めていく。

更地であった所に建物

を建設することで、圧迫感があり狭く感じると思うが、校庭を狭めての建設ではない。駐車場も新体育館の西隣に整備する予定である。学校の東側にある財産区有地への校庭拡張は、多額の経費と時間を要するので、現時点では難しい。

保健福祉 課、教育総務 課に問う

社会文教常任委員会 代表 **堀 籠 日出子**



原阿佐緒ゆかりの歌の小径

問 現在、遊歩道は湿地の上を通しており、設置から12年位で改修をしなければならぬ状況である。同じルート、同じ材料で修繕するのであれば、また10年位で修繕しなければならぬ。湿気に強い木を使うとか、ルートの変更はできないのか。

答 遊歩道の木橋は、湿地の上にかかっており、水生植物や湿地植物を見ながら、歌を詠むことができる景観にしている。湿気に強い木を使った修繕の工法を行った場合、橋全体の重量も増えるとともに、再利用が可能な部分までも新たな物に交換しなければならぬ。また、撤去した処分費も加算され工事費が増加する。現在の景観を損なわないよう配慮しながら、利用可能な部分は活用し、最小限の工事費にとどめたい。迂回路も視野に入れ検討したい。



にぎわうお立酒大会と産業まつり

観光協会の一本化を

問 町内には観光協会が2団体ある

が、町全体の基軸となる組織はないに等しい。今後、一本化を図る必要があるのでは。

答 町内の観光協会は、宮床地区の

「七ツ森観光協会」、吉田地区の「吉田観光協会」、町全体の「大和町観光物産協会」がある。「大和町観光物産協会」は、お立ち酒全

国大会、まるごとフェア、地場産品の販売やPRを行っている。「七ツ森観光協会」は

宮床地区内の自然景観や歴史、文化史跡の紹介や保護、整備・継承を目的に設立された。

3団体とも、それぞれの目的があり、一概に一本化というのは課題がある。今後とも各団体と連携を図って観光振興を進めていく。

産業振興課、都市建設課、上下水道課に問う

産業建設常任委員会 代表

あさのまさゆき
浅野正之

町営住宅使用料

収納対策は万全か

問 公営住宅の使用料は、滞納処分は

できないが、強制執行はできるとされている。効果的な収納率の向上策は。

答 町では、1か月分

の住宅使用料が未納だった場合、督促状を出して納付を促している。3か月の滞納があった場合は、保証人にも納付書を送付し納付を促している。未納者に対しては、職員が訪問指導をして未納対策を強化している。今年2月末での滞納額は12件、443万2千円で、全ての滞納者が分納を含め納付にしている。

収納率の向上は、未納者に対し、強制執行の手続きと根拠法令の説明をして、未納額の縮減に向けた指導を行っている。

安定した生活用水の提供をせよ

提供をせよ

問 企業や家庭の生活用水の安定供給を図るための、水道網の整備は大丈夫か。

答 本町の水道事業は、昭和45年に給

水開始をしてから40年が経過している。その後、給水区域の拡張と

水道管の整備を行い、現在の水道管の延長は23.2kmになっている。水道管の布設から相当

の年月が経過していることから漏水事故が発生し、断水により住民生活と企業活動に不可欠な水道水の安定供給に支障をきたす状況になっている。このような被害を回避するため、優先順位を設け、計画的に整備を進めている。



いや～、うまいなあ～

定年退職者増

職員研修を充実せよ

問 今後4年間で43名の職員が退職する。職員の人材育成が急務と思うが。

答 団塊の年代の職員があと数年で退職し、管理職20名は、平成27年度までに全てが退職する。このことから、職員の育成が急務と考えている。そのために、職員の意識改

町民バス、古すぎ

問 現在の町民バスは10年以上が経って、老朽化している。町民が乗りたくなくなるようなバスの更新をすべきではないか。また、利用者が増大するような路線を再検討すべきではないか。

答 現在、町では4台のバスを保有しており、10年以上、使用している。町民バスは、町内9路線を月曜日から土曜日の週6日間運行している。年間利用者(22年度)は1万9284人で1日平均60人が利用している。

革、資質向上を図り、行政運営や人事管理・人材育成能力を向上させる。また、職員の階層に応じた研修をし、管理職の能力向上、政策決定能力の養成、中堅職、初級職もそれぞれの職種にあった専門性・階級性に応じた研修を実施する。



ご苦労様でした(24年3月で退職された方々)

平成25年度から運用される交通ターミナル事業に向け、運行経路や停留所、さらにはデマンドバス方式による形態を検討し、実施していく。地域住民の要望、意見を聞き、運行をしていく。

総務まちづくり課、財政課、税務課、環境生活課に問う

伊藤 まさる
総務常任委員会 代表

デマンドバス方式とは？
利用者の要求に対応して、バスの運行をする形態のことです。

財産管理台帳を整備せよ

問 公共施設の財産、普通財産は財政課、行政財産は関係課で管理しているが、全体を把握できる財産管理台帳の整備が必要と思う。このことにより、効果的な修繕計画に結びつくと思うが。

答 地方公共団体の財産は、地方自治法の定めにより管理をしている。質問があった「全体を把握できるものは、財政計画の策定や事業計画に必要と考える。本町で取り組んでいる、新地方公会計制度に基づいた財産台帳を基礎として、研究したい。



沢山ある町の財産

採決、その前に

討論 (一般会計予算)



反対 藤巻博史議員

租税には三つの機能がある。公共サービスの費用調達機能、福祉国家のもとで持てる者から持たざる者に富を再分配する機能、景気の調整機能である。

今回の予算で、企業立地奨励金が5億2500万円ある。世界的企業で投資余力がある企業に、そういうことをやる必要があるのか。もちろん、税金として町の収入が増える見込みはある。しかし、後期高齢者の方々の保険料の見直などを行っており、予算編成について疑問をもつことから反対する。



賛成 鷗橋浩之議員

企業誘致により本町の人口が2万6100人を超えた。企業立地奨励金は、議会の同意を得て制定をした。奨励金が増額したということは、それだけ多くの企業が本町に進出をして、税収がそれに伴うということである。中期財政見通した中でやむを得ない。財源の構成上から、そのことによつて他の事業が圧迫されることでもない。執行に当たっては効率的な執行を期待し、賛成とする。

平成24年度予算

一般会計

賛成16：反対1

国保会計

賛成17：反対0

介護保険会計

賛成16：反対1

宮床財産区会計

賛成17：反対0

吉田財産区会計

賛成17：反対0

落合財産区会計

賛成17：反対0

奨学事業会計

賛成17：反対0

後期高齢者会計

賛成16：反対1

下水道会計

賛成17：反対0

農業集落排水会計

賛成17：反対0

戸別合併浄化槽会計

賛成17：反対0

水道会計

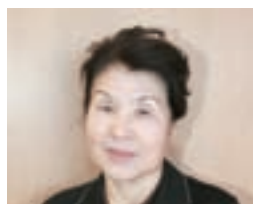
賛成17：反対0

認定



傍聴者の声

議会傍聴に来られた方に、傍聴されてのご感想と、今後の議会へ期待することを聞きました。



波間 妙子さん

吉岡婦人会の活動の中に議会傍聴を入れております。3月でご勇退される議員さんが大勢おられ、新しい方が入ってくるという事を、お聞きしました。新体制の議会に期待します。



伊東 勇さん

今回の議会でご勇退される議員さんも沢山いる。過去に提案した課題がどうなっているかという総括的な質問があつて大変良かったと思います。今後の議会活性化に期待します。



児玉 久子さん

地区の事を一番身近に感じているのは、地区から出ている議員さんなので、議員さんは必要だと実感しました。議員さん方には住みやすいまちづくりのために頑張っていたきたいです。



浅野 洋子さん

一般質問を傍聴するのは2回目なんです。議員さんの町政に対する思いが聴けて良かったと思います。期待する事は、町の発展に対する姿を見せていただきたいです。

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

町政を問う

12名の議員が、町長と教育長に質問



1. 中山 和広 議員
吉岡西部地区の土地区画整理
事業の再計画を
他 2 件 (20 ページ)



7. 伊藤 勝 議員
スポーツ観光振興の取り組み
について 他 1 件 (26 ページ)



2. 鶴橋 浩之 議員
どうなる、準用河川明ヶ沢川
氾濫対策
他 1 件 (21 ページ)



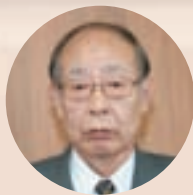
8. 桜井辰太郎 議員
求められる「地域主権」について
他 1 件 (27 ページ)



3. 高平 聡雄 議員
中心市街地の中心商店街の衰
退から 他 1 件 (22 ページ)



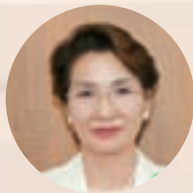
9. 松川 利充 議員
人材育成と人事評価について
(28 ページ)



4. 上田 早夫 議員
団地の孤独死対策を今から検
討せよ (23 ページ)



10. 平渡 高志 議員
将来の交通体系整備は
他 1 件 (29 ページ)



5. 堀籠 日出子 議員
子育て応援スタッフ事業について
他 1 件 (24 ページ)



11. 浅野 正之 議員
施政方針から
(30 ページ)



6. 藤巻 博史 議員
吉岡南地域の表通りを明るく
他 1 件 (25 ページ)



12. 大友 勝衛 議員
施政方針について
他 1 件 (31 ページ)

「検討する」と答弁した結果は

町長 慎重に検討する



議員 ひろ 中 山 和 廣

議員 質問に対し、「検討する」と答弁された次の件に対する検討結果は。

① 町営住宅西原団地の解体跡地を地域住民に開放せよ。
② 一人暮らしの高齢者のための相談・援助付き町営住宅の建設を。

③ 国民健康保険税の課税算定基礎を見直せ。

町長 ① 西原町営住宅は解体跡地がバラバラで、まとまった形での使い方の検討には至っていない。

② 一人暮らしの高齢者のための相談・援助付き住宅は、木造町営住宅の跡地利用の検討をする中で考えたい。
③ 国民健康保険税の算定基礎は、課税割の中で資産割を下げれば、所得割を上げなければならず、中・低所得層の負担増につながる恐れもあり、算定基礎の変更は慎重な検討を要する。

一般質問

得層の負担増につながる恐れもあり、算定基礎の変更

は慎重な検討を要する。



どうする、吉岡西部地区

軌道系公共交通機関の整備は

町長 交通体系の整備拡充を図る

議員 第四次総合計画に記している、軌道系公共交通機関の整備を具体化するための取り組みはどのようなのか。

町長 みやぎの中核都市を。

目指す本町にとって、高速性や定時性に優れる軌道系交通機関の整備を長期目標に捉えている。建設コストや利用可能エリアの人口動向等課題も多く、現存す

吉岡西部を 新たな産業地に

町長 企業の立地動向を見守る

議員 宅地需要等の条件変化により、平成16年に止むを得ず事業を休止とした吉岡西部地区を、企業誘致の新たな産業集積地として土地区画整理事業を再計画してはどうか。

町長 町内の工業団地の現状と吉岡西部地区の経過等を踏まえ、吉岡西部地区を縦断する予定の県道大衡・仙台線の整備計画の進展や、企業の立地動向等も見ながら西部地区のまちづくりを進めていきたい。

る交通体系の整備拡充を図りながら、総合計画の目指す理念の充実を進めていきたい。

国恩記をどう活かす

教育長 5月に著者磯田氏招き講演会

議員 昨年4月から月刊文藝春秋に、茨城大学准教授磯田道史氏が国恩記にスポットを当て「新代表的日本人、穀田屋十三郎」を連載している。今回特に、月70万部発行の文芸誌での連載紹介で、江戸幕藩体制の時代、大変希少な民による自治救済事業の史実が全国発信され本町の文化的注目度が高まることが期待されるが、まちづくりへの活用は。また、著者の保存伝承の遺言から国恩記や関連資料の文化財保護政策上の位置づけ、対策は。

議員 昨年4月から月刊文藝春秋に、茨城大学准教授磯田道史氏(いそだみちあき)が国恩記にスポットを当て「新代表的日本人、穀田屋十三郎」を連載している。今回特に、月70万部発行の文芸誌での連載紹介で、江戸幕藩体制の時代、大変希少な民による自治救済事業の史実が全国発信され本町の文化的注目度が高まることが期待されるが、まちづくりへの活用は。また、著者の保存伝承の遺言から国恩記や関連資料の文化財保護政策上の位置づけ、対策は。

教育長 国恩記は小学校の副読本に掲載し、偉業を分かりやすく解説している。平成15年九品寺に顕彰碑が建立され、さらに町民ミュージカルでも紹介した。本年5月、磯田道史氏を招き、国恩記の講演会を開催する企画を進めている。また、パンフレットやホームページ、ビデオ等での紹介も検討している。保存伝承は、資料は仙台市博物館で保管され、町の貴重な資料として今後どのように後世へ伝えるか協議する。



議員 之 浩 橋 鷲

一般質問

議員 以前から指摘してきた、準用河川「明ヶ沢川」の氾濫による災害が、昨秋の台風15号でも繰り返された。特に、河川が八志田堰用水路に合流する構造要因と、吉田川に合流する下流部の狭小未装工による課題が大きいことは承知のお

りだ。大雨の度に氾濫を繰り返す、「明ヶ沢川」に関する住民は不安をおぼえている。河川管理者としての考えは。

町長 前回の質問に対し「局や県と協議をしている」と答えたが、昨年の震災により協議を見送った。

現在、昨年発生 of 台風15号の復旧に取り組んでいるが、今後、氾濫要因とされている準用河川と八志田堰用水路の関係や、下流部の狭小未装工部分への影響の調査を行い、事業化に向けて局や県と協議していく。

準用河川「明ヶ沢川」氾濫対策は 町長 事業化に向け、国や県と協議



国恩記を紹介している副読本

中心商店街は「地域の顔」

町長 商店の底力を発揮いただく



議員 雄 聡 平 高

議員 町の総合計画「みやぎの中核都市・大和」の策定時に中心市街地基本構想検討委員会から提言を受けてから中心商店街は以前と比べどう変化したのか。

シャッターが降りたままの店舗や人影のまばらな通りから、私には商店街が衰退し続けているように見えてしまう。行政として果たさなければならぬ役割があるはずだが考えを問う。

町長 卸・小売販売の事業所数は、平成3年は301件、平成14年は271件と減少しており、その後、土地区画整理事業等の関係から平成21年は282件と若干増加傾向にある。その内、中心商店街の空き店舗は約40店で中心商店街全体（1

50店舗）の4分の1を占めているが、空き店舗の貸し出し物件は1件となっている。

計画策定から3年経過してイベント等の客数はあるが日常の出入が増加するまでに至っていない。

中心商店街の活性化方策はハード面、ソフト面の両面からの取り組みが必要であり、もう一度足を運びたくなるような施策を商業関係者と連携し、誘客に努めていく。

大和町の借金はどの位か

町長 町民一人当たり68万3千円

議員 行政を執行するに当たり一般会計、特別会計、企業会計、及び、黒川地域行政事務組合会計でのそれぞれの借金額、総合計額、人口一人当たり額、そして将来見通し（増減）は。

町長 起債の23年度末残高見込額は、一般会計で77億

6千6百万円、下水道会計55億8千7百万円、農業集落排水特別会計6億8千8百万円、戸別合併浄化槽特別会計1億2千万円、水道事業会計13億8千万円、合計155億4千万円となっている。

黒川地域行政事務組合残

高は、一般会計で9億1千4百万円、病院事業31億4千6百万円、合計40億6千百万円となっており、本町負担割合で按分すると23億9百万円となる。

したがって、平成24年1月末人口用いると、一人当たり額は68万3千円となる。



がんばろう商店街

孤独死対策を検討せよ

町長 高齢者世帯の安否確認を充実させる

議員 先日、団地内のアパートを訪問した。入口に表札がないので隣人に名前を聞いたところ、「分からない」との返事だった。隣り近所の付き合いもない様子であり、大都会のコンクリートジャングルを想い浮かべた。都会では、地区によりこの種の問題に取り組み始めているので、本町でも検討が必要ではないか。

町長 近年は、少子高齢化の時代となり、特に団塊の世代が現役を去りつつある。昨今は、高齢者の皆さんの時代変化、経済変化に対応する捉え方も大きく変わってきていると感じる。もみじヶ丘団地も25年経ち、町でも時代に沿った施策等を行いながら対応してきた。

通して参加活動を促してきた。来年度から「お元氣訪問員」を増員し、行政区長、民生委員等と連携した、一人暮らしや高齢者世帯への安否確認を充実させる。地域においても千葉県常盤平団地のような「向こう3軒両隣あいさつ運動」が定着するよう誘導したいと考えている。

高齢者対策は、もみじヶ丘団地のみならず、町全体の課題なので、医療・福祉生涯学習も含め、「元氣」「長寿」につながるよう従来の施策を見直しながら時代に合った施策を展開するよう研究していく。



議員 夫 早 田 上



誕生してから25年が経過した、もみじヶ丘団地

子育て応援スタッフ事業を 実施せよ

教育長 実施可能か調査し、検討



ほりごめ ひでこ 議員

議員 生涯学習講座・教室は、小学生から高齢者まで各年代層の方が参加できる事業で、受講者数は年々増加傾向にある。

しかし、受講者には育児中の方の参加が少ない。育児が理由で参加できないのではないか。

教育長 育児を理由に、受講を断念している方の数は把握していない。

議員 学校行事等も含め、各行事への参加時に、子どもを見てくれる「子育て応援スタッフ」事業を進めては。

教育長 23年度から「協働教育プラットフォーム事業」に取り組んでおり、今年1月に、子育てサークル、

一般質問

保育士、保健師等で構成された「家庭教育サポートチーム」を設立した。家庭教育の相談や情報交換の場、地域の人材を活用した子どもとのふれあいの場の提供を活動目標としている。

これらを活用しながら、各講座や学校行事で一時預かりに対しての調査を行い、今後、どのような対応が可能か検討する。

敬老会事業の見直しを

町長 関係者の意見を聞き、検討する

議員 敬老会は、長年にわたり社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する事業である。

しかし、今後、ますます高齢者数が増加する中、これまでの敬老会事業を見直す必要があると感じる。

敬老会対象年齢を引き上げては。



学校業事で一時預り（吉田小学校）

町長 年齢の引き上げも含め、開催方法など、敬老会のあり方を区長・関係者の意見を参考に検討する。

議員 現在80歳以上の方々に5500円を祝い金として支給しているが、祝い金の支給方法は。

町長 県内では、名取市をはじめ4市町村で80歳以上

の方に祝い金を支給している。その他の市町村では、77歳（喜寿）、88歳（米寿）、99歳（白寿）など節目の年に支給している傾向が多く見られる。

祝い金も敬老会の開催とあわせて検討したい。

吉岡南地区が暗い

町長 防犯灯の増設を行う

議員 吉岡南2丁目、3丁目間の道路が暗い。西柿木くまほろばホールの600mで、灯りは交差点の照明を含めて4カ所5個ではない。

まほろばホール横も、200mで1個では暗い。その他、表通りで暗い所が見受けられる。通学児童も増えると思われる。増設が必要ではないか。管理の主体はどこか。増設の計画は。

町長 管理主体は町である。PTAから2基の増設要望があり、工事を発注し、間もなく設置される。また、吉岡南1丁目と2丁目間の道路には13基、新設することで工事発注をしている。熊野堂公園付近も24年度に6基の防犯灯を設置する。

同じ交差点で事故多発! 対策は

町長 交通安全を住民に周知

議員 昨年11月、吉岡南3丁目の山崎ピアノ教室前で、小学生と軽自動車の人身事故があった。また、同じ交差点では事故が多いと聞く。事故が多い原因は、どのようなことが考えられるのか。対策は。

町長 事故の原因は、団地内の道路のため、家屋等で見通しが悪いことや、町道天皇寺柿木線が西側から交差点に向かって、緩やかな

左カーブとなっていることが考えられる。対策として、一時停止や左右の安全確認を促すため、交通安全看板等の設置を検討しましたが、歩道が1・5mと歩行者の妨げになることから、車道への路面表示を行い、広報紙や交通安全協会を通じて地区に周知し、交通事故防止に努める。



気をつけて通ろうね



議員 史博 博 巻 藤

スポーツ観光振興に取り組み

町長 今後とも支援していく



伊藤 まさる 議員

議員 多くの自治体が、スポーツを通じた地域活性化に高い関心を持ち、従来の健康や教育といった効果に加え、観光・スポーツ関連産業振興といった、経済的な効果を目的とする自治体が増えつつある。「スポーツによる地域活性化とその効果」を求める自治体が、今後、さらに増加すると予想する。本町のスポーツ観光振興の取り組みを聞く。

町長 本町のスポーツの拠点である総合運動公園の自転車競技場では、全国から多くの大学が毎年20日間にわたり合宿しており、町内の旅館を利用していている。また、サイクルフェスティバルや、クリテリウムみやぎ

は、東北地方はもちろんのこと、関東地方からの参加者も多数来られる。総合体育館では、みちのくメンスアンドレディースインディアカ大会、ドッジボール大会、中学生バレーボール東北親善大会など、多人数が集まる各種大会が開催されている。平成24年度に、第37回日本ハンドボールリーグ戦を誘致する予定である。今後とも、スポーツ観光振興を支援していく。

大丈夫？放射能被害対策

町長 測定器の設置は5月末

議員 県は、放射能被害対策の基本方針を決定した。3月中に具体的な実施計画を策定し、新年度から実施する。「今後5年以内に、追加被ばく線量を、年間1ミリシーベルト以下にする」との目標を設定した。農産物や食品の安全性確保の一環として、全35市町村



気合十分、新記録目指して

に放射性物質濃度の簡易測定器を無償で配備。住民が持ち込んだ食品などの検査に応じる。生産段階からの点検にも留意し、農産物の放射性物質濃度を低下させるための技術支援も行う。本町の取り組みは。

町長 放射能測定器は当初、県が購入し市町村へ貸すと

の方針だったが、消費者庁の貸与事業を活用することになり、貸与申請を行い、貸与が決定している。測定器の配備は5月末なので、農産物等の測定体制を整え、町民の不安の解消と安全・安心の確保を図っていく。

求められる「地域主権」

町長 みやぎの中核都市・大和を目指す

議員 地域主権をどう進めるか、町長の戦略を問う。

町長 本町が目指すのは、「みやぎの中核都市・大和」である。個性豊かで、活力

に満ちた地域社会を実現するためには、自らの地域のことには自らの意思で決定し、その財源・権限と責任も自ら持つことが、地域主権型社会といわれている。このことから、企業誘致に力点を置き、安定した財源を確保しなければならぬと考えている。

議員 町民が安全・安心して暮らすために、議会と首

長が両輪で「地域主権の確保」を進めなければならないと思うが、町長の考えを聞く。

町長 首長も議員も住民の代表として施策や行動、予算の適性を違う立場から注視し、住民の福祉向上と地域発展のために、間違った方向に進まないようにすることが責務である。

今後も、お互いの立場で意見を主張し、住民の意思が反映されるまちづくりを目指していく。

地震に対しての教育は万全か

教育長 防災計画の見直し行い、防災教育を進める



守ろう、いのち

議員 本町の防災教育、地震対策は十分なのか。

教育長 児童・生徒の命を預かる者の責任の重さを改めて感じている。町内の各

小・中学校では、防災計画に基づき、避難訓練を行ってきたが、今回の大震災を経験し、十分でないことがわかった。児童・生徒の引渡しや避難の仕方を中心に見直しを図り、県が今後、学校安全の指針として策定する、「みやぎ学校安全基

本指針（仮称）を参考に、更なる防災教育の充実に努めていく。

議員 津波から命を守る防災教育の実施をせよ。

教育長 校外学習で海岸へ出かける場合は、緊急連絡網の調整等を行ってきた。今後は、防災教育の中で、児童・生徒に地震と津波の関係、津波の特性や恐ろしさなどを、被災者の体験談や報道等の記録を使って伝える。また、避難の重要性

や避難の方法も指導していく。

議員 防災に対する職員の意識を高めよ。

教育長 今後、各学校に防災主任を置き、防災計画の見直しや防災教育を進める。教職員に対しては、命の大切さをすべての教科で児童生徒に指導し、全教職員ひとり一人が対策本部長の意識をもって、災害に対処するよう指導していく。



議員 辰太郎 櫻井 議員

人材育成と人事評価を問う

町長 一層の人材育成に努める



まつ かわ とし みつ 議員
松 川 利 充

議員 めまぐるしい社会の変化により、ますます複雑・多様化するニーズに的確に対応していくためには、組織力の更なる向上が求められている。人材の確保、能力の開発、人材の活用等をはじめ、評価のシステムを整備し、総合的な人材育成を確立していくことが重要である。このような観点から、次のことを問う。自治体にとって「人を育てること」は重要な仕事であると思うが。

町長 今後4年間で退職する職員は43名と大量である。ノウハウを持つ職員が不足する可能性が高く、次世代を担う人材の育成が急務である。人材を育成することは、本町のまちづくりを支

える重要な根幹であると考えている。

議員 人材育成の基本計画の内容と、その実施状況・人材育成効果の内容を聞く。
町長 平成18年に「大和町人材育成基本計画」を策定し、高度化する行政ニーズへ対応できる職員を育てる必要がある。「住民とともに考え、信頼に答えられる職員」「自からの責任で考え、行動する職員」等をかかげ、行政のプロを目指し実務研修等を行っている。

議員 人事評価と人材育成は表裏一体と考えるが、評価結果の活用と人材育成システムとの連携・改善をどのように行っているのか。

町長 「人事評価制度」を導入し、年度始めに組織目標と業績評価、能力評価を行っている。評価の結果は、給与へ反映し、目標を下げた項目は、本人に必要なアドバイスをやっている。



新人職員の辞令交付式

将来に向けた交通整備を

町長 関係市町村と連携し、研究重ねる

議員 北部工業団地を中心に、トヨタ自動車、東京エレクトロロンを始めとした大企業の立地が急速に進んでいる。それに伴い、朝・夕の国道4号線は飽和状態である。

また、仙台〜大衡線の完全開通も程遠い。車だけに頼らない通勤、通学の為の大量輸送機関が必要になると思われる。これは、本町だけの問題だけでなく、黒川全体での取り組みが必要と考えるが、町長はどのように考えているのか。

町長 仙台北部を取り巻く環境が大きく変わり、大量輸送手段の検討も必要と考えている。しかし、新交通システム実現のためには、数多くの課題があり、黒川地域だけで対応できる問題ではない。バスによる公共交通の整備が第一の課題と考えており、交通ターミナルの整備による現行システムの改善や充実に取り組み、長期的には「緑の未来産業都市くるかわ建設推進協議会」を軸に、関係市町村と連携し、新交通システムの導入の研究を重ねていく。



議員 高 志 議員
高 志 議員
高 志 議員
高 志 議員

危機対策室を設置せよ

町長 災害時には全職員一丸となり対応

議員 平成22年9月議会の一般質問で、危機対策室の設置を提言した。

平成16年10月に危機対策官を配置し、町の安全安心のために防災計画を策定し、災害に強い町をめざしたが、ここ数年、対策官が不在である。「近年、各地で地震、豪雨、地すべりなど、大きな被害が出ている。本町でも、いつ、どんな時にも対応できる体制を取るべきで



将来、地下鉄が来ないかなあ

はないか」と提言してから、わずか6か月である東日本大震災が起きたのである。食料、ガソリン、物資等の不足と震災時の対応の反省を踏まえ、今こそ危機対策室を設置し、今後の災害に対処すべきと思うが町長の考えを問う。

町長 危機対策室として独立した機関の設置は、県内の自治体にもその動きがあることは事実である。しかし、

本町としては、専門の部署を設置するのではなく、総務まちづくり課に置いて、道路や農業施設、教育施設、福祉施設等を抱える関係課と連携を図ることが重要である。

災害に対応するためには、全職員が一丸となり任務にあたらなければならないと考えているので、危機対策担当を主力に組織の充実を図っていく。

新年度予算編成を問う

町長 優先・必要性を検証し精査した



あさのまさゆき 議員

的な補助金のあり方を検討していく。

議員 町税をはじめ、各種手数料、使用料等の滞納額が年々増えており、町の財政を圧迫している。予算編成時に、どのように整理したのか。

町長 各種の滞納整理は、対策本部を設置し、町税や給食費、保育料等の滞納者を一元化し、効率的に滞納整理に取り組み、戸別訪問による徴収で成果が出ている。町税や各種手数料・使用料を現年度分と滞納繰越分とに明確に区分し、予算を圧迫することのないよう、今後に対応していく。

議員 町の人口増を、どのように考えているのか。今後、人口規模が大きく変化することは、まちづくりや町の方向づけも変わると思う。町長の考えを問う。

町長 第四次総合計画で平成35年の人口を3万人と定めた。当面は平成27年2万8200人の目標に、魅力あるまちづくりを目指していく。

議員 中期財政見通しの視点に立ち、予算編成を組んだとしているが「ムリ、ムダ」の事業をどう評価し、削減したのか経過を聞く。

町長 各課に、震災による厳しい経済状況、国予算の財政見通しが不透明なこと、町総合計画実現に向けた施策を中期財政の見通しを踏まえて、予算編成を行うよう指示した。新年度予算の主要事業や、施策の優先性や必要性のヒアリングを行い精査に努めた。

議員 各種補助金は、どのように認識し対応したのか。

町長 補助金適性化委員会を立ち上げ検討し、縮小となった補助金もあった。今後事業計画に沿った補助金の予算措置や効果、効率



適正に集めて、適切に使います

総合計画をどう展開する

町長 職員、一丸となって進める

議員 第四次総合計画の、第二次実施計画期間（平成24年度から平成26年度）の重点・主要事業施策の検討を、前倒しで主要事業ヒアリングを行ったとあるが、ヒアリングの方法、職員提案の有無の状況を聞く。

町長 主要事業のヒアリングは、各課の事業の総点検の中で行った。各課から提出された事業数は149で、調整を行った結果、123事業、3年間の事業費は80億4400万円とした。

主要事業は各課で事業の必要性を十分、検討して作成した。実施計画の策定は、町の目標を達成するための重要な政策決定である。職員一人一人が重要度を強く認識し、まちづくりの提案を行い、一丸となって進めていく。

トヨタ自動車東日本誕生 本町への影響は 町長 地域振興と雇用に期待する



本社予定地のセントラル自動車

議員 施政方針の中で「トヨタ自動車東北、セントラル自動車、関東自動車工業の3社が、本年7月に合併し、トヨタ自動車東日本として誕生する予定だ。このことから、さらなる躍進が見込まれ、今後も地域内の活性化と雇用への弾みとなるような施策の雇用を図る」とあるが、町は、トヨタ自動車東日本にどのようなアプローチを行ったのか。

町長 3社が統合する話をお聞きしたので、表敬訪

問を兼ね、トヨタ自動車（トヨタ本社）の副社長に、「ぜひとも本町で操業しているトヨタ自動車東北の名前を残してほしい」と申し入れた。結果、東北という名ではなく東日本という名前になったが、本町にエンジン工場もできるといふことで、地域振興と雇用に期待する。

議員 雇用に対する施策展開の具体的内容は。

町長 有効求人倍率が1・06で昨年同期の0・59

と比較すると大幅に改善されている。

町内のアパートも満室と聞いているが、さらなる定住化を進めていきたい。

議員 今後、なお一層の産業集積が見込まれる中、新たな整備計画に取り組みべきと考えるが。

町長 道路の整備（アクセス）状況や都市計画区域の見直し等の課題もあるので、県と連携して、企業の立地動向を注視しながら進めていく。



議員 衛 勝 かつ とも 大 お



なしよなつたの？ あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

いまだに効果見えず 商店街の活性化

①議員 (H19年9月議会)
中心商店街のまちづくりをどの様に考えているのか。

町長
総合計画の見直しの中で、効果的な振興策を検討していく。

②議員 (H20年6月議会)
中心商店街の空き店舗が目立ち、無残な姿を目にする。中心街の機能回復策は。

町長
中心市街地検討委員会を組織し、課題を検討する。

③議員 (H20年9月議会)
商店街の空き店舗、空き地対策に力を入れよ。活性化策は。

町長
県補助事業「商店街にぎわいづくり戦略事業」を活用し、集客倍増と売上の向上に弾みがつくよう、取り組みたい。

④議員 (H20年12月議会)
活力ある商店街を目指す、町の取り組みは。

町長
商店街の街路灯整備、ポイントカード導入、一割増商品券の発行、まるごと市などのイベント事業に取り組む。

実現しました 中学生まで医療費無料

H23年3月 → H24年4月

質問
子育て支援の一環として、中学生まで通院医療費の助成を拡大しては。

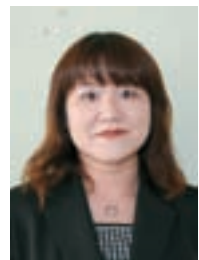
答弁
通院は、小学校就学前、入院は中学生までを所得制限なしで、全額助成を行っている。

処理
中学3年生まで通院医療費が無料になりました。



シャッター街に、にぎわいを再び

医療費が中学3年生まで無料になりましたが、母子家庭なのですが、手出しがなくなっただけ、経済的にも楽になって、とても助かります。



早坂文恵さん

保護者の方に
インタビュー

自治功労表彰

長年にわたる議員活動により、5名の方が表彰されました。それぞれから受賞の感想を聞いてみました。

馬場久雄 議員

みやぎの中核都市・大和に向けて、活力ある議会活動になお一層励んでいきます。



浅野正之 議員

今後、大和町に、何か新しい発見があるといいですね。どうもありがとうございました。



鶉橋浩之 議員

町民の皆様への支えにより、充実の議員活動でした。本当にありがとうございました。



上田早夫 議員

今回の表彰は長い議員生活の良い思い出として大切にしたいと思います。



大友勝衛 議員

大変光栄な事と存じます。皆様方のご指導・ご支援のたまものと、深く感謝申し上げます。



全国議会広報コンクール 2年連続入賞 県議会広報コンクール 最優秀賞受賞

堀籠英雄広報委員長コメント
二年連続全国・県のコンクールで入賞できたのは、議員各位の活発な意見のたまものと感謝します。



藤巻委員 秋山委員 伊藤委員
堀籠委員長 大須賀議長 平波副委員 堀籠委員

議会事務局職員紹介

円滑な議会運営と、議員各位の補佐役として一生懸命がんばります。また、議会活性化、議会改革のために全力で職務に努めます。



藤原 孝義 (主査) 曾根 秀子 (主幹)
千坂 俊範 (班長) 浅野 喜高 (局長)

出前講座を行います

議会をもっと身近に感じていただくため、知っていたいただくために、議会事務局職員が出向き、議会の仕組みなどを分かりやすく説明いたします。各行政区や各種団体、町内の学校などで、「議会って、どういう事をやっているんだろう」と思ったら、お気軽にご連絡ください。

【連絡先】大和町議会事務局
電話：34517506 (直通)



鶴巣小学校 六年
なみやま
中山 颯くん



大好き!! 大和町

落合小学校 五年
おかわま
小川穂乃佳さん



自然がたくさんある大和町

「心が生まれ育った大和町の好きな所は、自然がいっぱい広がっている所です。」

多くの通う鶴巣小の周りには、広い水田が広がり色々な川が流れています。ぼくはその中で、低学年の時から草花や虫の観察、川の生き物調べなどを続けてきました。ぼくは今年六年生になり、目標を立てました。それは鶴巣小のため

「心やさしくたくましく」を目指す事です。友だちや下級生に優しく、心も体も強い六年生になりたいです。

そして将来、大人になった時も、優しくたくましい人になりたいです。その後の大和町も、今と変わらず自然がいっぱいあって、自分も大和町に住みながら町の自然を大切に残していきたいと思っています。

将来の夢

わたしは今、大人になったらパティシエになりたいと思っています。理由は二つあります。一つ目は、スイーツが好きだからです。特に、イチゴタルトが一番好きです。二つ目は、わたしが作ったものをたくさんの人においしく食べてもらいたいからです。だから、今年調理クラブに入って、スイーツ作りをしたいと

思っています。パティシエは、おかし作りについて色々な事を知らないといけないので、高校を卒業したら、専門学校に通って、いっぱい勉強したいと思います。そして、お店で実際に働いてみたいのです。その後は、大和町で自分のお店を開きたいです。その時は、みなさんぜひお店に買いに来てください。

……今回の表紙は……

4月9日に、町内各小中学校の入学式がありました。宮床小学校の新1年生も、元気に入りました。お友達と仲良く、お勉強と運動をがんばりましょう。



編集後記

チームワーク

町議会議員改選により、4月から新議会となり、広報編集委員も新たなメンバーでスタートしました。町民皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。これからの4年間、皆様に親しまれ、読みやすい議会だより作成を心がけ、議会活動を分かりやすくお知らせしますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。

広報編集委員長 伊藤 勝

議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。場所は役場3階です。

次回定例会は
6月7日(木)から
6月11日(月)までの予定です。

大和町議会事務局
☎ 022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報調査特別委員会

- 編集発行責任者
議長 大須賀 啓
編集委員
委員長 伊藤 勝
副委員長 藤巻 博史
委員 長 伊藤 善行
委員 長 藤巻 博史
委員 長 今野 善行
委員 長 門間 浩宇
委員 長 千坂 裕春
委員 長 浅野 俊彦

